

令和8年度 北山高等学校 音楽科 年間指導計画					校長印		教頭印		指導者氏名	
科目	音楽Ⅰ	単位	2	学年	1	普通科		使用教科書	MUSA 1（教育芸術社）	

科目の目標	① 歌唱および楽器の基本的な奏法や楽曲の内容について理解するとともに、創意工夫をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	② 自己のイメージをもって音楽を表現したり、音楽のよさを味わいながら聴いたことを音や言葉で表現したり伝え合ったりする力を養う。
	③ 音楽を表現する喜びや他者と合わせて演奏する楽しさを味わう活動を通して、主体的に音楽を探究する意欲や他者と協働して物事に取り組む態度を養う。

学期	月	題材名	主な教材	題材の評価規準例		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	4	【歌唱】曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	校歌 夢の世界を 「翼をください」	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	5 6	【楽典】音の長さとしずみ 【楽典】音名 【器楽】リズムや音名を理解してJ-POPや歌謡曲を演奏しよう（キーボード）	楽典：音符と休符 楽典：音名 J-POP 歌謡曲	・演奏のために必要な基本的な知識を身に付けている。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想とキーボードの奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	7					
2学期	9	【器楽】郷土の音楽に親しみ、演奏に挑戦しよう（三線） 【歌唱】曲にふさわしい発声で歌おう（イタリア語に挑戦！） 【楽典】反復記号	ていんさくぬ花 安波節 安里屋ユンタ 'O sole mio 楽典：反復記号	・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	10					
	11	【器楽】擦弦楽器に挑戦しよう（ヴァイオリン） 【楽典】音程	基礎練習テキスト（音階練習・ポウインク） カノン きらきら星 楽典：音程	・曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	12					
3学期	1	【器楽】表現を工夫して演奏しよう（ギター） 【楽典】和音（コード 三和音のみ）	簡単な単旋律の練習曲 日曜日よりの使者 楽典：和音	・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	2	【鑑賞】音楽の要素とイメージをつなげよう	ジョーズのテーマ 等	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴について理解している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	3	【創作】音楽の要素とイメージをつなげよう		・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。	・音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

令和8年度 北山高等学校 音楽科 年間指導計画					校長印		教頭印		指導者氏名	
科目	音楽Ⅰ	単位	2	学年	1	理数科		使用教科書	MUSA 1（教育芸術社）	

科目の目標	① 歌唱および楽器の基本的な奏法や楽曲の内容について理解するとともに、創意工夫をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	② 自己のイメージをもって音楽を表現したり、音楽のよさを味わいながら聴いたことを音や言葉で表現したり伝え合ったりする力を養う。
	③ 音楽を表現する喜びや他者と合わせて演奏する楽しさを味わう活動を通して、主体的に音楽を探究する意欲や他者と協働して物事に取り組む態度を養う。

学期	月	題材名	主な教材	題材の評価規準例		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	4	【歌唱】曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	校歌 夢の世界を 「翼をください」	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	5 6	【楽典】音の長さとしずみ 【楽典】音名 【器楽】リズムや音名を理解してJ-POPや歌謡曲を演奏しよう（キーボード）	楽典：音符と休符 楽典：音名 J-POP 歌謡曲	・ 演奏のために必要な基本的な知識を身に付けている。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・ 曲想と キーボードの奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	7					
2学期	9	【器楽】郷土の音楽に親しみ、演奏に挑戦しよう（三線） 【歌唱】曲にふさわしい発声で歌おう（イタリア語に挑戦！） 【楽典】反復記号	ていんさくぬ花 安波節 安里屋ユンタ 'O sole mio 楽典：反復記号	・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・ 曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	10					
	11	【器楽】擦弦楽器に挑戦しよう（ヴァイオリン） 【楽典】音程	基礎練習テキスト（音階練習・ポウインク） カノン きらきら星 楽典：音程	・ 曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・ 曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	12					
3学期	1	【器楽】表現を工夫して演奏しよう（ギター） 【楽典】和音（コード 三和音のみ）	簡単な単旋律の練習曲 日曜日よりの使者 楽典：和音	・ 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・ 曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	2	【鑑賞】音楽の要素とイメージをつなげよう	ジョーズのテーマ 等	・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴について理解している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	3	【創作】音楽の要素とイメージをつなげよう		・ 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。	・ 音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	・ 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

令和8年度 北山高等学校 音楽科 年間指導計画				校長印		教頭印		指導者氏名	
科目	音楽Ⅱ	単位	2	学年	2	普通科	使用教科書	MUSA 2（教育芸術社）	

	① 歌唱および楽器の効果的な奏法や楽曲の内容および背景について理解するとともに、創意工夫を生かして演奏するために必要な技能を身に付けるようにする。 ② 個性豊かに音楽を表現することや、音楽のよさを深く味わいながら聴き、音や言葉で表現できるような力を養う。 ③ 音楽を表現する喜びや他者と一体となって演奏する楽しさを味わう活動を通して、主体的に音楽を探究する意欲や他者と協働して物事に取り組む態度を養い、生活や社会を豊かにする姿勢を身に付ける。
---	--

学期	月	題材名	主な教材	題材の評価規準例		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	4	【歌唱】曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	校歌 夢の世界を 「浜辺の歌」	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	5 6	【楽典】和音（コード セブンス） 【楽典】拍子とリズム 【器楽】リズムや音名を理解してJ-POPや歌謡曲を演奏しよう（キーボード）	楽典：和音（コード セブンス） 楽典：拍子とリズム J-POP 歌謡曲	・曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。	・曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
2学期	7 9 10	【器楽】郷土の音楽に親しみ、表現を工夫して演奏しよう（三線） 【歌唱】曲にふさわしい発声で歌おう	ていんさぐぬ花 下記楽曲より1曲を選択 安波節 安里屋ユンタ 秋の踊り 涙そうそう 童神 芭蕉布 Vaga luna, che inargenti	・曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。	・曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	11	【器楽】擦弦楽器に挑戦しよう（ヴァイオリン） 【楽典】反復記号	基礎練習テキスト（音階練習・ボウイング） カノン きらきら星 喜びの歌 楽典：反復記号	・曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。	・曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
3学期	12	【器楽】表現を工夫してアンサンブルをしよう	生徒が選んだ任意の楽曲	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及びアンサンブルの表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け、表現している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、アンサンブルの表現形態の特徴や各パートの役割に関心をもち、主体的・協働的にアンサンブルの学習活動に取り組もうとしている。
	1	【鑑賞】音楽の要素とイメージをつなげよう	ジョーズのテーマ 等	・曲想と音楽の構造、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	2 3	【創作】音楽の要素とイメージをつなげよう		・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。	・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

令和8年度 北山高等学校音楽科 年間指導計画（音楽Ⅲ:3学年普通科）

音楽Ⅲの評価の観点		校長		教頭		指導者氏名
	①知識・技能	②思考・判断・表現			③主体的に学習に取り組む態度	
観 点	歌唱および器楽の効果的な奏法や、楽曲の内容および背景について理解を深めるとともに、創意工夫や表現上の効果を生かして演奏するために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽のよさや美しさを深く味わいながら聴き、音や言葉で表現できるようにする。			音楽を表現する喜びや、他者と一体となって演奏する楽しさを味わう活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、他者と協働して物事に取り組む態度を養い、人生や社会を明るく豊かにする姿勢を身に付ける。	

期	月	題 材	学習のねらい	教材
一 学 期	4	【歌唱】響く声で歌おう	- 基本的な歌唱法を身に付ける - 歌う楽しさを感じ取らせる。 - 歌詞及び曲想の把握と表現の工夫。	校歌 夢の世界を
	5	【器楽】キーボード①	- 鍵盤楽器の基本的な奏法を身に付ける。 - 鍵盤楽器の複雑さや楽しさを味わう。	任意の楽曲
	6	【楽典】リズムと拍子・音程・和音	楽譜を読むために必要な基礎知識を身につける	楽典：リズムと拍子・音程・和音
	7	【実技試験】キーボード	1学期で学習した曲を中心に、歌唱およびキーボードの実技試験を行う。	1学期に学習した任意の楽曲
		【筆記試験】楽典	音楽の基礎知識の定着度を確認する。	1学期に学習(復習)した楽典から出題
二 学 期	9	【器楽】協力してアンサンブルを仕上げよう	- お互いの音を聴き合い、合奏する。 - 協力して曲を仕上げるする。	任意の楽器 任意の楽曲
	10			
	11 12	【器楽】ソロ演奏に挑戦しよう	これまで学習してきた楽器の中から任意の楽器を選び、任意の楽曲をソロで演奏ができるようにする。	任意の楽器 任意の楽曲
三 学 期	1	MUSIC CONCERTに向けて	発表に向けて各自・各チームで練習を行う。	任意の楽器 任意の楽曲
	2	MUSIC CONCERT	1年間の成果を発表する。	任意の楽器 任意の楽曲
		年間のまとめ	年間のふりかえりを行い、卒業後の人生に繋げる。	

令和8年度 北山高等学校音楽科 年間指導計画（総合音楽:3学年普通科）

総合音楽の評価の観点		校長		教頭		指導者氏名
	①知識・技能	②思考・判断・表現			③主体的に学習に取り組む態度	
観 点	歌唱および器楽の効果的な奏法や、楽曲の内容および背景について理解を深めるとともに、創意工夫や表現上の効果を生かして演奏するために必要な技能を身に付ける。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽のよさや美しさを深く味わいながら聴き、音や言葉で表現できるようにする。			音楽を表現する喜びや、他者と一体となって演奏する楽しさを味わう活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、他者と協働して物事に取り組む態度を養い、人生や社会を明るく豊かにする姿勢を身に付ける。	

期	月	題 材	学習のねらい	教材
一 学 期	4	管楽器に挑戦しよう	- 管楽器演奏を通して挑戦意欲を高める - 協力して曲を仕上げるする。	任意の管楽器 任意の楽曲(野球の応援曲)
	5			
	6	実技試験(野球応援)	1学期で学習した野球の応援曲を1曲選択し、実技試験を行う。 1学期で学習した成果をふりかえり、2学期へ繋ぐ。	任意の管楽器 任意の楽曲(野球の応援曲)
二 学 期	7			
	9	協力してアンサンブルを仕上げよう	- お互いの音を聴き合い、合奏する。 - 協力して曲を仕上げるする。	任意の楽器 任意の楽曲
	10	ソロ演奏に挑戦しよう	これまでの成果を披露する場を設け、個々の演奏能力を高める。	任意の楽器 任意の楽曲
	11			
三 学 期	12	実技試験	2学期で学習した曲を中心に、器楽アンサンブルの実技試験を行う。 2学期で学習した成果をふりかえり、3学期へ繋ぐ。	任意の楽器 任意の楽曲
	1	MUSIC CONCERTに向けて	発表に向けて各自・各グループで練習を行う。	任意の楽器 任意の楽曲
	2	MUSIC CONCERT	1年間の成果を発表する。	任意の楽器 任意の楽曲
		1年間のまとめ	年間のふりかえりを行い、卒業後の人生に繋げる。	

令和8年度 北山高等学校音楽科 年間指導計画（保育と音楽:3学年普通科）

保育と音楽の評価の観点		校長		教頭		指導者氏名
	①知識・技能	②思考・判断・表現			③主体的に学習に取り組む態度	
観 点	歌唱および器楽の効果的な奏法や、楽曲の内容および背景について理解を深めるとともに、創意工夫や表現上の効果を生かして演奏するために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽のよさや美しさを深く味わいながら聴き、音や言葉で表現できるようにする。			音楽を表現する喜びや、他者と一体となって演奏する楽しさを味わう活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、他者と協働して物事に取り組む態度を養い、人生や社会を明るく豊かにする姿勢を身に付ける。	

期	月	題 材	学習のねらい	教材
一 学 期	4 5 6 7	オリエンテーション	・歌う楽しさを感じ取らせる。	
		響のある声で歌おう	・歌詞及び曲想の把握と表現の工夫。	幼児・児童向けのうたから数曲選曲
		キーボード実習①	・弾き語りに必要な能力を養うため、基本的な指の動かし方を身に付ける。	こどものばいえる 上巻(音楽之友社)より
		保育検定取得に向けて キーボード実習②	・全員での取得を目指し、保育者としての基礎知識を検定取得から学ぶ。	幼児・児童向けのうたから数曲選曲 こどものばいえる 上巻(音楽之友社)より 全訳バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)より
		童謡	・様々な童謡を覚えて歌えるようにする	こどものうた200(チャイルド本社)より
		実技試験	・1学期で学習した曲を中心に、歌唱およびキーボードの実技試験を行う。	1学期に学習した任意の楽曲
二 学 期	9 10 11 12	手遊びうた	・様々な手遊びうたを覚えて歌えるようにする	こどものうた200(チャイルド本社)より
		楽典(コードとは)	・コードの知識を身に付け、伴奏に必要な能力を高める。	楽典より抜粋
		キーボード実習③	・コードを覚え、コードを見ながら簡単な伴奏ができるようにする。	やさしく弾ける！保育のピアノ伴奏(池田書店)
		保育園訪問演習に向けた取り組み	・指導計画を立てる。	保育園実習で取り組む曲を決めていく。
		保育園訪問演習	・必要な実技を習得する。	
		キーボード実習④	・コードによる伴奏をしながら、童謡を弾き歌いできるようにする	こどものばいえる 下巻(音楽之友社)より 全訳バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)より
		実技試験	・2学期で学習した曲を中心に、歌唱およびキーボードの実技試験を行う。	2学期に学習した任意の楽曲
三 学 期	1	キーボード実習④	・コードによる伴奏をしながら、童謡を弾き歌いできるようにする	こどものばいえる 下巻(音楽之友社)より 全訳バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)より
	2	1年間のふりかえり	・1年間の取り組みをふりかえり、成長を実感する。	